

日本一のスタートで表彰台に

入社5年目の川上選手。
19年に60m室内日本記録をマークしたシーズン以降、20年度、21年度と不意なレースが続き、悩みもがき続けた。
22年シーズンも順調な冬季トレーニングから一転、怪我で出遅れたが、5月「水戸招待陸上」で2位入賞、「関西実業団選手権」で10秒34、磨きのかかったスタートでダッシュでレースを重ねる毎に記録を上げてきた。
万全な体調で大会に挑む、川上選手に期待です。



100m 川上 拓也
エントリータイム 10秒34

生年月日：1995年06月08日
出身校：東海大浦安高-中央大
60m室内日本記録保持者

●川上選手からのコメント
いつも陸上競技部へのご声援ありがとうございます。去年、一昨年ともどかししいシーズンが続く、春先には怪我もしてしまいました。怪我の治癒と平行して右肩上がりで記録を上げられてきています。
今年こそ、皆様に良い結果報告が出来るよう日本選手権で日本代表を目指し、尽力したいと思います。ご声援、宜しくお願いたします。

第106回

日本陸上競技選手権大会 OSAKA 2022

会場

ヤンマースタジアム長居（大阪）

2022

6.9（木）-10（金）

※大阪ガス陸上競技部5選手出場日

大阪ガス陸上競技部

第106回日本陸上競技選手権大会出場5選手紹介

自己記録更新で日本代表！

入社3年目の河内選手。
フォーム改造2年目のシーズンは順調な冬季トレーニングでスプリント力が向上し、春先には1000mで自己記録を更新。
スピードを生かしたレースで、18年度以来できていない45秒96の自己記録更新を目指す。
世界選手権代表獲得に向け、ランキング上位選手、オリンピックに挑む河内選手に期待です。



400m 河内 光起
エントリータイム 46秒10

生年月日：1997年6月2日
出身校：八幡工高-近畿大
2019ドーハ世界選手権日本代表

●河内選手からのコメント
いつも陸上競技部へのご声援ありがとうございます。今年の日本選手権は、世界選手権の選考レースとなっており、非常に重要な大会となります。
7月に開催される世界選手権「オレゴン大会」の舞台に立てよう代表権を勝ち取りに行きます。ご声援の程よろしくお願いたします。

世界選手権代表に駆け上がる

入社3年目の坂井選手。
昨年は、世界リレーで初の日本代表を経験するも、怪我で東京オリンピック選考会は悔しい結果に。その悔しさを糧に、今シーズンは充実した冬季トレーニングの成果を発揮し春先から好記録をマーク。好調をキープしたまま、順調な調整を続けている。
「オレゴン世界選手権」の参加資格を射程圏内に捉えるレベルまで成長した。
絶好調の坂井選手に期待です。



100m 坂井 隆一郎
エントリータイム 10秒16

生年月日：1998年03月14日
出身校：大阪高-関西大
シレジア2021世界リレー4×100mリレー日本代表

●坂井選手からのコメント
いつも大阪ガス陸上競技部を応援いただきありがとうございます。今年は、春先から調子が良く、オレゴン世界陸上を狙えるところまでできています。
参加資格の10秒05を切り、3位以内までに入り代表入りができるように頑張ります。
ご声援よろしくお願いたします。

決勝の舞台で最高のパフォーマンスを

入社5年目の岩崎選手。日本選手権は3度目のチャレンジ。過去2度の挑戦では、僅かな差で決勝の舞台を逃し悔しい思いを重ねた。日頃のトレーニングから積極的な走りで、スタミナとスピード強化で走りのキレを磨いた。3度目の正直となる今大会で、悲願の予選突破を果たし、決勝の舞台に立つ。決勝で最高のパフォーマンスを披露すべく調整を続ける岩崎選手に期待です。



1500m 岩崎 祐也
エントリータイム 3分44秒33

生年月日：1995年04月08日
出身校：観音寺第一高-立命館大
第64回全日本実業団対抗駅伝 6区区間9位

●岩崎選手からのコメント

いつも大阪ガス陸上競技部を応援いただきありがとうございます。日本選手権は今回で3回目の出場となります。日本のトップを決める大会に出場できる喜びを感じながら、予選突破と自己ベストの更新を目標に自分の持ち味である粘り強い走りで最後まで駆け抜けます。緊張感をパワーに変えて頑張りますので、ご声援の程よろしくお願いたします。

攻めの走りで上位進出を目指す

入社5年目の野中選手。大阪ガス陸上部 長距離のエース。毎年自己記録を更新し、1万メートルは27分台に突入し、日本トップレベルの選手に成長。22年2月には、初マラソンとなる大阪マラソンにチャレンジし、積極的なレースで観客を魅了した。5月に開催された日本選手権1万メートルに出場。今大会の5千メートルに続き、積極的に攻めるレースで観客を魅了する。野中選手の上位進出に期待です。



5000m 野中 優志
エントリータイム 13分35秒94

生年月日：1995年11月10日
出身校：川西北陵高校-関西学院大
第65回全日本実業団対抗駅伝 3区区間4位

●野中選手からのコメント

いつも陸上競技部へのご声援ありがとうございます。今シーズンは、兵庫リレーカーニバルで日本人トップ、関西実業団選手権で1500m自己記録更新と、順調に調子を上げることができております。日本選手権では、積極的な走りで入賞を目標に頑張ります。皆さまのご声援を力に変えて走りたいと思っておりますので、どうぞ応援のほどよろしくお願いたします。

大阪ガス陸上競技部

第106回日本陸上競技選手権大会出場5選手紹介

競技日程

2022年6月9日（木）

2022年6月10日（金）

競技開始時間	種目	ラウンド	出場選手	
14:10	1500m	予選	岩崎 祐也	
15:20	100m	予選	川上 拓也	坂井 隆一郎
18:25	400m	予選	河内 光起	
19:05	100m	※準決勝	川上 拓也	坂井 隆一郎
19:30	5000m	決勝	野中 優志	

競技開始時間	種目	ラウンド	出場選手	
19:15	400m	※決勝	河内 光起	
19:45	1500m	※決勝	岩崎 祐也	
20:30	100m	※決勝	川上 拓也	坂井 隆一郎

※6/9（木）
400m・1500m予選・100m準決勝を突破した選手のみ

※15：20 予選を突破した選手のみ